

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	1
事業名	男女共同参画事業	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
施策	6 語らいのあるまち	課名	町民課		
	6-3 人権を尊重するまちをつくる	係名	町民活動係		
	6-3-2 男女共同参画社会の実現				
主要施策	①男女共同参画に向けての意識づくり		③自立した生き方づくり		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、町内団体、学校、事業所など	目的 (対象がどのような状態になっているか)	女性と男性が互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会、いわゆる「男女共同参画社会」を実現させる。
事業内容	男女共同参画事務…第3次東員町男女共同参画プランに掲げられた4つの基本目標を推進し、それぞれの目標における2022年までの数値目標の達成を目指す。平成30年度に策定していた男女共同参画条例については平成31年4月に施行することができた。男女共同参画推進委員会でのプランの進捗管理を行いつつ、講座や映画等の啓発活動についても従前どおり実施していく。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	男女共同参画啓発回数	5	4	5	回	→
2	審議会などにおける女性委員の比率	28.9	29.5	29.6	%	↑	30
3	講演会や研修会の開催回数	4	2	2	回	→	1
4							
5							
		平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)
全体事業費 (千円) A+B				2,369	2,301		2,427
財源内訳	直接事業費 A			323	255		381
	うち一般財源			114	(86)		231
人件費 (千円) B				2,046	2,046		2,046
内訳	一般職員 (人・千円)			0.31	2046	0.31	2046
	臨時職員 (人・千円)			0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	男女共同参画条例施行に伴い、広報や映画祭の場で条例の理念を多くの住民に知ってもらおうべく周知啓発に取り組む。	③取組の課題	未だ男女ともに、それぞれの役割についての固定観念が存在することが散見され、また、女性の側に社会への参画を躊躇う傾向があり、この意識を改めることが課題である。
②R1年度に実施した取り組み	平成31年4月1日に東員町男女共同参画推進条例を制定した。また、連携映画祭、男女共同参画講座を開催したほか、啓発活動も随時行った。	④今後の改善計画	平成29年度に策定した向こう5年間の「第3次東員町男女共同参画プラン」に基づき、事業を着実に進めていかなければならない。